

⚠️ ご使用前に必ずお読みください。

⚠️ RP剤を廃棄する場所に掲示下さい。

⚠️ 製品をRP包装して出荷する場合、出荷先に ①カタログ ②SDS ③本チラシを送り、正しい廃棄方法を遵守するよう手配下さい。

# RP剤の廃棄方法

(SDSを常備してください)

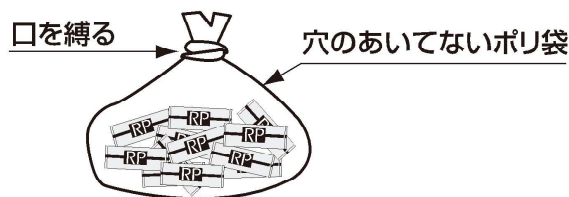
高温の場所や熱がこもるような状態に多量のRP剤を置くと、温度が上昇する場合があります。

RP剤を廃棄する場合はつぎの注意事項をお守りください。

多量のRP剤を廃棄する場合は、ポリ袋※1などに集め、口を縛って密封し、各地の条令に従って廃棄してください。

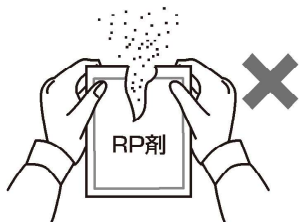
※ 1 RP剤の入っていたアルミ袋に入れ、口を閉じても結構です。

※ 2 RP剤の包装はプラスチックを含むフィルムです。



## つぎの注意事項を守って下さい。

**1** RP剤は袋のまま捨てて下さい。



RP剤を破らないでください。

誤って中味が目や口に入った場合は、ただちに多量の水で洗浄の上、医師の治療を受けて下さい。

**2** 多量に集めないで下さい。



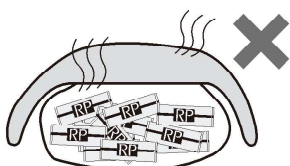
多量のRP剤を集めると、蓄熱のため温度が上昇する場合があります。ひと袋に入れる量は50個程度を限度にして下さい。

**3** 燃えやすい物や水気の多いものを同封しないで下さい。



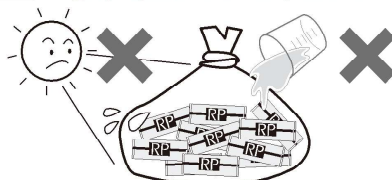
油の付着した布切れや紙などや、水気の多いもの・水そのものをRP剤と同じ袋に入れしないで下さい。

**4** 熱がこもらないようにして下さい。



布切れ、クッション材、紙クズなどに囲まれると、熱がこもって温度が上がることがありますので、おやめ下さい。

**5** 温度の高い場所や、水のかかる場所に置かないで下さい。



火の近くや高温の機械のそば、直射日光の当たる場所、また水のかかる場所などに置かないで下さい。

RP剤は「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準」(昭和48年総理府令第5号[改正平成18年12月環境省令第36号])を満たしています。

## 三菱ガス化学株式会社

機能化学品事業部門 脱酸素剤事業部

〒100-8324 東京都千代田区丸の内 2-5-2三菱ビル TEL 03-3283-4867 FAX 03-3287-1785